

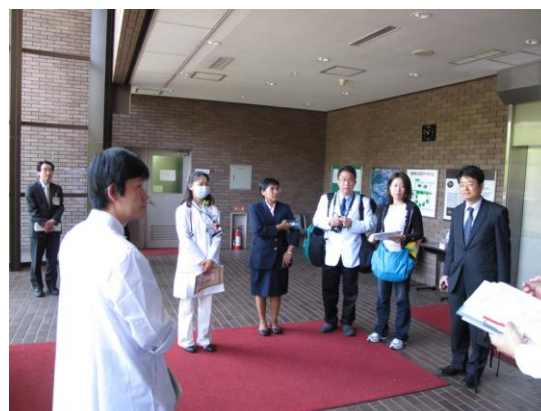
東日本大震災にともなう医療応援のため、タイ本国からの医療チームが、本学高度医療緊急支援チームの小児・感染チームに同行して県内各地の避難所を巡回し、乳幼児の健康管理についてアドバイス等を行いました。

医療チームの活動は5月9日から6月2日まで医師・看護師の2名編成で4週間にわたり2週間交替で行われました。第1班ではナリット・ワラナワット医師とルンティワー・アサウィンナーノン看護師が派遣され、5月9日から5月19日まで、第2班はスティポン・パンカノン医師とキム・サクヌーン看護師が派遣され、5月23日から6月2日まで、続けました。巡回先は第1班が15ヶ所、第2班が16ヶ所でした。

6月2日に第2班の送別式が行われ、活動が終了しました。
本学に対するタイ王国からの医療支援に感謝申し上げます。



No. 1



No. 2



No. 3



No. 4



No. 5

(上記の写真説明)

- No. 1 医療チーム第1班として派遣されたルンティワー・アサウィンナーノン看護師（左から3番目）とナリット・ワラナワット医師（左から6番目）を歓迎。
- No. 2 巡回訪問前のタイ医療チーム第1班と福島医大チームとの合同打合せ
- No. 3 ワラナワット医師とアサウィンナーノン看護師の送別式（5月19日）
- No. 4 タイ医療チーム第2班と福島医大チームとの合同打合せ（キム・サクンヌーン看護師（左）とスティポン・パンカノン医師（右端））
- No. 5 パンカノン医師とサクンヌーン看護師の送別式（6月2日）